

第40回マンション管理組合(春季)実践セミナー (マンション住まいの防災をみんなで考えてみよう)

5月27日 越谷市中央市民会館にて
NPO埼玉管ネット・越谷市マンション連合会 共同開催

テーマ1.

『東日本大震災で得た教訓事例とマンションが備えるべきこと』と題して、

NPO法人東北マンション管理組合連合会 常務理事であり防災士の紺野智博氏を講師に迎え、お話を聴きました。



紺野 智博氏

震災から早や一年四か月、仙台市内の被災マンションで復旧が完了した案件は半数にも満たないのが状況。被災時に体験した事、今、実践している事が、今後に役立てば、幸いです。

I. 【震災当日の行動】

II. 【対策本部の設置】

○管理組合の対応
建物および設備を被災した各住戸の状況確認と緊急補修、ライフラインの対応、自主避難所の運営

- ① 防災センター前集合。
- ② 除個所の確認と処置
- ③ 居住者の安否確認(居住者名簿・緊急連絡先票の活用・要援護者名簿の活用)
- ④ 指定避難場所の受入れ状況(NG確認)
- ⑤ 自主避難所の開設(集会室・ロビー・サロン)
- ⑥ 炊出しの実施(炊飯器材)
- ⑦ マンション居住者から食材の供出(冷凍冷蔵庫は食材の宝庫)
- ⑧ 災害対策本部の立上げ
- ⑨ 自治会の対応
- 居住者の安否確認。自治会連合、民生委員、地域包括センター等との連携。指定避難所対応、自主避難所運営

- (3月21日迄)
- ① 受付。支援物資の受入れ・供出、物資の管理、外出者(避難者)安否確認。
 - ② 生活情報。掲示板の活用。情報の提供、共有。
 - ③ 居住者間のボランティア。介助、家具起こし、水汲、買出し、写真班、工作等
 - ④ 炊出し。一日二、三食の配食サービスを実施。
 - ⑤ 地域の避難所への対応。指定避難所へボランティア派遣(三〜四名/日)
 - ⑥ アナログ回線(黒電話)停電時の通信手段にアナログ回線が大活躍。
 - ⑦ 情報の伝達
 - ⑧ 一斉非常放送の活用
 - ⑨ 役立つたもの
 - プロパンガス(50キロ×2)、アウトドア用品、魔法瓶、反射式ストーブ、七輪、土鍋、充電式ラジオ・ランプなど。

能力、やる気を活かす。有言実行(理論より実践)、管理組合役員経験者の活用。

- ③ 安心安全のために。単独行動の排除(二人以上)
- ④ 情報の収集と共有。正確な情報の入手、発信。
- ⑤ 地域との連携。共助・公助の活用(地域住民として)連合町内会、地域包括センター、民生委員等との連携。

IV. 【助け合い・参加型相互扶助の実践】

管理組合、自治会、自治会連合会に居住者自ら参加し、体験し、相互作用を造り出すことが大切。常日頃から場を作り、つなぎ、取り持つ、引き出す、待つ、共にある、問いかけることによるファシリテーションの促進が重要。

地域コミュニティを活性化し、マンションも地域の一員である自覚を持ち、地域の防災・防犯を高めることにより、地域の魅力向上にも貢献でき、ソフト面の資産評価にもつながる。

マンションの大規模修繕工事、 “瑕疵”への備えはありますか？

大規模修繕工事の『瑕疵保険』なら...

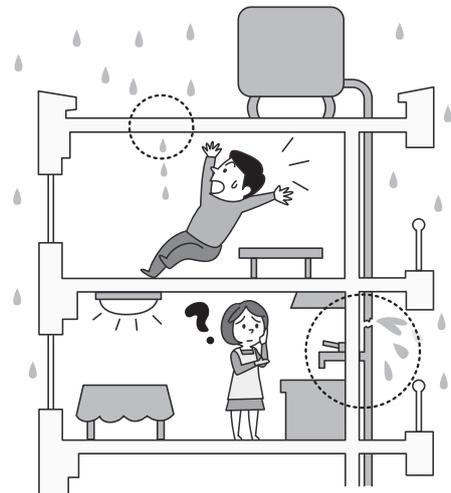
国土交通大臣指定 住宅瑕疵担保責任保険法人

株式会社 住宅あんしん保証

〒104-0031 東京都中央区京橋 1-6-1

TEL:03-3562-8122 FAX:03-3562-8031

までお問合せください！



テーマ2.

『災害に際して市ができること、市民にお願いしたいこと』と題して、

越谷市 協働安全部 危機管理課副主幹の風間秀治氏を講師に迎え、お話を聴きました。



風間 秀治氏

I. 【越谷市と地震】

越谷市では埼玉県地震被害想定調査を基に最も被害が大きいと予測される「東京湾北部」を震源とする地震被害（H19年度資料では、越谷市の最大震度6.1）を最大値と捉え各被害を予測。（※埼玉県では改訂版を準備中）市内の全建物の内全壊数1,059棟（1%強）、半壊数5,256棟（6%弱）、一日後の避難者数48,192人、帰宅困難者数67,053人となっています。

II. 【地震にどう備えるか1】市ができること

①越谷市の備蓄計画

◎耐震性飲料用貯水槽の整備

◎食糧供給体制の整備

◎生活必需品供給体制の整備

◎防災用資器材の供給体制の整備を行っており、食糧は避難者数の夫々、3食分を備蓄しています。

◎災害時応援協定

◎広域相互応援協定（他地域の地方自治体との提携）

◎流通在庫の確保（市内の企業・団体との提携）

◎自主防災組織への支援

III. 【地震にどう備えるか2】市民にお願いしたいこと

①地震が起きたら？

大地震発生時の、冷静な対応は難しく、一瞬の判断が生死を分けてしまいます。

「あわてず、落ち着いて」自分の身を守ることを第一に考え、大きく揺れている時に無理にガスコンロなどの火の元に近づく行動は、かえって危険です。揺れがおさまってから火を消

しましょう。

②地震対策

室内の家具が転倒すると、その下敷きになって怪我をしたり、逃げ道をふさいでしまいます。

家具の転倒・落下防止には重いものを下、軽いものを上にするなど収納に工夫を。

◎家具の下部前方に板を入れたり、就寝場所に背の高い家具を置かない工夫を。

◎転倒防止金具、重ね留め用具、扉・引出し開放防止金具などの利用を。

③事前の準備（自助・共助）

防災の基本は、自助（自分・家族）・共助（管理組合、自治会）・公助（行政機関）の連携を行い、地域コミュニティ意識が必要です。

ただし、地震災害時は、地域全体が被災者となり、行政職員もまた被災者となります。公的な防災機関による救援活動は平時時と同じ様には望めません。災害発生後の3日間は自助・共助をお願いしたい。

IV. 【災害Q&A抜粋】

Q1 大規模災害時に安全に

住民が避難するために実は不十分であると感じている事は？

A1 震災以降、防災無線が聴き取りづらいなど多くの意見を頂いています。（代替措置としてシティメールなどを活用頂きました。）

Q2 越谷市には200棟を超える分譲マンションがあり、集会所を持つ大型マンションも駅前周辺部にかんがりの棟数存在します。自助、共助の精神で協力できることがあるとすれば？

A2 マンションの集会所を被災者のために活用出来るならば、受け入れに協力していきたい。



会場セミナー風景

世紀を超えて 快適サポート

Kns 建装工業株式会社

首都圏マンションリニューアル事業部

〒105-0003 東京都港区西新橋 3-11-1

TEL03-3433-0503 FAX03-3433-0535

URL : http://WWW.KENSO.CO.JP

～ Totalでご提案します～

大規模修繕工事から設備改修工事、内装リフォーム充実したアフターメンテナンス体制で培った信頼が世代を超えた永いお付き合いを実現しています。

Advertisement for Kns Building Industry Co., Ltd. featuring a large image of a modern apartment building, a list of services (large-scale renovation, plumbing, waterproofing, soundproofing, interior work, and building diagnosis), and ISO 9001 and ISO 14001 certification logos. It also lists branch locations: 東北支店, 千葉支店, 横浜支店, 中部支店, 関西支店, 札幌営業所, 福岡営業所.